



## 大阪部会(第12回)

日時: 2009年4月25日(土)18:00~20:00

場所: 同志社大学 大阪サテライト

### 【内容要旨】

- (1) 第12回の部会は14名の参加者で開催された。まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、3月に大阪、東京、神奈川、福岡で実施された「経済教育ワークショップ」や教材開発その他の活動について報告された。東京部会において議論された公共財ゲーム(中川日大教授作)の改善案も紹介された。
- (2) 続いて篠原代表から、8月に東京、大阪、名古屋、札幌で予定されている、中高教員研修のためのワークショップについて、日程(確定)の報告と、内容(案)の紹介があった。東京では中学二日間、高校二日間を別の週に開催し、大阪、名古屋については二日間の日程のうち一日を中学に、一日を高校にあてることになった。教科書の中からどのようなテーマを取り上げるかについては、部会メンバーの協力で、中高の先生方に希望アンケートを募ってから、次回部会にて検討することになった。
- (3) 奥田修一郎氏(狭山市立第三中学校)から、「「公共性」を育む社会科授業」の実践例が紹介された。中学三年生の三学期公民授業で実施されたものであり、地球温暖化問題を題材に、ネットやDVD教材の利用、ワークショップ形式の活用、貿易ゲーム、公共財ゲームを応用したオリジナルなゲーム「ストップザ温暖化ゲーム」開発など、豊富な内容を含んでいる。生徒の自主的な学習意欲を高めながら、教科書的な知識も与え、公民授業の総決算にふさわしい授業実践であると、参加者から非常に高い関心を集めた。
- (4) 最後に篠原代表から、中高社会科教科書における金融分野の扱いとその教え方についての考えが示され、意見交換が行われた。

(文責: 野間敏克)